

80年度前期同学会全学区代議員選挙統一候補団 立候補宣言

我々は、80年度前期同学会全学区代議員選挙に京大学生運動・全学自治会運動の原則的立場を堅持し、より発展させる立場から立候補する。

■侵略・差別・抑圧と闘う学生自治の発展を図る

この階級社会の中にあって、大学の或いは学生の存在と役割を独立したものと捉えることはできない。まさしく学生の利益や権利を防衛・拡大することを語るとき、大学、学生の社会的役割を踏まえたのでなければ大きな誤りを犯すことになるだろう。

我々は、学生自治会もまた、一切の侵略・差別・抑圧に反対する立場を取るべきだと考えるし、その視点抜きに、「学生の権利・利益」の擁護を主張するならば、「エリートの特権の上積み」に陥るであろうと考える。従って我々学生は自らの利益を、侵略・差別・抑圧に抗して闘う全ての人民と共有できるものにしていかなければならないだろうし、こうした「悪」の体制を維持すべく更なる抑圧を目論む帝国主義者・ブルジョワジー——「大学」も總体として彼等に奉仕すべく反人民的研究・教育の任務を遂行しているのだ！——の全ゆる策動を見抜き、対決していかることが必要だと考える。

全学自治会同学会は、こうした立場から再建以来各学部自治会・学内諸サークルと団結して、①被抑圧人民の先進的な突出した闘いに連帯・共闘し、②侵略・反動的国内再編に向けた日帝の政治的動きを暴露・糾弾し、③帝国主義的大学再編と総対決し、その中で学生の権利を防衛・拡大していくという原則的立場を明らかにし、全学の学友の結集軸として最先頭で闘ってきた。即ち、帝国主義の核戦略に対決しつつ、この大学の反人民的研究を解体すべく闘われている熊取闘争、農業と農民の犠牲の上に侵略拠点として作られる三里塚空港を実力で廃港に追込まれる闘争、差別・分断の一層の強化・固定化に対する狹山差別裁判・糾弾闘争。

そして、こうした闘う自治運動とともに学生の一切の自主的・創造的活動を圧殺せんとする学内治安管理強化（3・7規定、4・20通知の実質）＝立看撤去・廃案化攻撃等）を阻止し、学生の自主的活動の権利を防衛・発展させる闘い——等々が大衆的自運運動として担われてきた。そして今、朝鮮人民の反日民主化・祖国統一の闘いに帝国主義本国の人民としてどのように連帯していくのかが我々に突きつけられている。我々は先の6・26全學集会でも確認された原則的立場を踏えつつ、9月期からのより強固な全学自治会運動の体制を構築すべく奮闘していきたいと考える。全ての皆さんのが我々と共に主体的に原則的・戦闘的自治を担っていかれるように訴える。

■闘う自治会をより強固なものにする 全ての学友は同学会の旗の下に結集しよう

こうした同学会の闘いに対して、国家権力・当局やその下僕となり下った日「共」—民青等からの弾圧・妨害・中傷攻撃が強まっている。権力・日「共」一体となった弾圧攻撃、当局からかけられている学生自治圧殺策動、日「共」—民青による熊取闘争・寮闘争への敵対と管理強化容認（そしてそのための自テッチあげをはじめとした御用自治会組織）等である。こうした反動アロックによる自治破壊・闘争圧殺攻撃に対しては、同学会のより一層の強化と大衆運動の力を対決し、粉碎し切っていかねばならない。そのためにも教養部をはじめとする自治会再建と、日「共」—民青の過疎支配に陥っている一部学部自治会の戦闘的再生を闘いの中から勝ち取っていかなくてはいけない。全学区代議員統一候補団は、その先頭に立って闘う決意である。全ての学友が我々への支持を集中し、全学自治会同学会の大衆的発展を共に担っていかれるように訴える。